

希 望

【大津市立皇子山中学校だより】

令和5（2023）年6月6日発行

第3号 生徒数：766名

【学校教育目標】

「皇子山中学校・校区」を愛し、
校区の次代を担う生徒

やっぱい皇中がすき

自信と誇り

～生徒の主体的活動を通して～

6月に入りました。雨上がりのあじさいの水滴が光に照らされて、きらきらと輝いてとても美しい様子が梅雨の季節の憂鬱さを晴らし、心とませてくれます。6月も行事が続き慌ただしい日々が続きますが、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

さて、本校の目指す生徒像の3つのうちの1つを、『「皇中生」としての誇りを持てる生徒（自信と誇り）』としています。本校では、その実現に向けて、「生徒の主体的な活動」を推進しています。

例えば、授業では「きく・考える・表す」活動を通して。家庭学習においては、「勉強貯金」という名称の自主学習ノートの取組。学級活動においては、学級会で各学級の課題を話し合い改善していく取組。校外学習や修学旅行では各学年での実行委員会を中心とした活動。体育祭や皇中祭に向けては、3学年縦割り団編成活動などの取組を。そして、部活動も、地域でのボランティア活動も。様々な取組や活動を、生徒の皆さんが当事者意識をもって主体的に取り組むことで、成就感や達成感を味わい、自信をつけていく。また、失敗や挫折の経験から学び、成功に向けて粘り強く挑戦し取り組むことで、「さらに強固な自信をつけていく」、と考え推進しています。結果が悪かったから、失敗したから、価値がないのではなく、勝利や成功、目標達成に向けて取り組む過程にこそ、価値があり、その過程での挑戦や取組にこそ、人としての成長がある。そして、そのことが本校の目指す生徒像の一つである「自信と誇り」につながっていくと考えています。

ぜひ、目標を持ち目標に向かって、失敗や挫折を恐れることなく、粘り強く挑戦し、取り組んでほしいと思います。そして、自信と誇りを持ち、大きく成長してくれることを期待しています。

保護者の皆様へ

生徒の皆さんの挑戦や取組を支えていくには、その過程に寄り添い、「結果ではなく、挑戦や取組の過程に価値があり、自分自身を輝かせ、さらなる成長をさせる」ということを伝え、励ましていくことが必要であると考えています。

同級生や仲間同士で支え合い、高め合えることもありますが、まだまだ大人への途上にある中学生には、失敗や挫折を乗り越えるため、教職員はもちろんのこと、身近な大人の日々の励ましや支えは欠かすことができません。皇子山中学校では、全教職員が一丸となって子どもたちの成長を後押しできるように努めてまいり所存ではありますが、保護者の皆様におかれましても、本校の教育方針をご理解いただき、引き続き、学校と家庭が手を携え、共に、子どもたちを支え、導いてまいりたいと思います。なにとぞ、よろしくお願いいたします。

1 学期末の予定

6月22日（木） 期末テスト
23日（金） 期末テスト

7月10日（月）～14日（金）
期末懇談
7月20日（木） 終業式

3年修学旅行「習楽良好」

5月31日（水）～6月2日（金）の3日間、3年生は和歌山県、大阪府方面に修学旅行として出かけてきました。「習楽良好」修学旅行は学習の場ですが、楽しむ気持ちを忘れず思い出に残る修学旅行にするという思いで実行委員会で決めました。今振り返るとあっという間の3日間だったように感じます。台風が接近する中でしたが、計画していた研修の多くを実施することができ、たくさんの思い出をつくること出来ました。旅行中多くの笑顔や人を気遣う優しさが見られた素敵な3日間になりました。今回の旅行での成果を今後の学校で発揮して欲しいと思います。

保護者の皆様には、旅行の実施につきましては健康面、準備物など様々ご協力を頂きたいへんありがとうございました。今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



好天に恵まれたふるさと体験学習（1年）京都自主研修（2年）

1年生は、5月23日（火）・24日（水）の2日間、4クラス、3クラスに分かれて、葛川少年自然の家でふるさと体験学習を実施しました。あまごをいただいた「いのちの学習」、土のうを活用した「防災学習」を行いました。葛川は皇子山と同じ大津市内ですが、皇子山とは違う大自然の中で、普段の生活では当たり前になっていることのありがたみを感じたのではないのでしょうか。

2年生は、5月30日（火）、京都市自主研修を実施しました。天気にも恵まれ、体験学習と自主研修を実施しました。組紐作りでは、講師の指導のもと一人ひとり違う色の組紐を完成させました。金具を着けストラップにして学校に届けもらうことになっています。

